

技術資料 (TDS)

作成日 2022/1/6

・ 特徴

アケミ エバークリア510は無溶剤でゲル状のウレタン樹脂接着剤です。

特性

- 黄変しにくい (屋外・屋内)
- 硬い素材のテクノセラミックや御影石等の屋内外での優れた接着強度が得られる
- 屋内の大理石やライムストーン等の柔らかい素材の接着にも適している
- 無色透明
- 無溶剤
- 接着部の変色がない
- ゲル状で液だれしにくい
- 硬化した接着部の収縮が少ない

・ 適応範囲

アケミ エバークリア510は主に石材加工業界で使用されており、大理石や御影石等の自然石、テラゾーやセメント系人造石の接着や穴埋めに使用します。

アケミ エバークリア510は黄変しにくいので、明るめの天然石に使用することもできます。

また、なめらかなゲル状なので、細かい部分や垂直面に使用しても液だれせず、非常に使いやすいです。プラスチック、紙、木材、ガラス等幅広い素材に使用することができますが、ご使用前に必ず目立たない箇所テストすることをお勧めします。

ポリエチレン、ポリプロピレンなどのポリオレフィン、テフロン (例: PTFE)、シリコンや可塑剤を含むその他の素材 (例: 軟質PVC) の接着には適していません。

・ 使用方法

被着材料表面の水分と汚れを除去します。接着面を荒し、完全に乾燥させてください。

カートリッジ

1. カートリッジから留め金はずし、ガンに挿入します。両方の開口部から材料が出るまでグリップを握ります。混合ノズルをしっかり締めてください。
最初は混合が不十分ですので最初の 10センチほど捨て打ちをしてください。
2. 混合ノズルを使用しない場合は、両方の成分をしっかり混ぜてください。
3. 着色にはアケミ 着色ペーストを最大 2%まで添加できます。
4. 10~12分 (20°C) で作業を終えてください。
約5時間で表面が硬化し、次の作業をすることができます。約7日後には完全に硬化しています。
5. 使用道具は洗浄し清潔にしてください。
6. 温めると硬化速度を早め、温度を下げると硬化速度が遅くすることができます。

缶

1. 成分A100g と成分B100g を1:1の割合で均一に混合します。混合比は厳守してください。
2. 着色にはアケミ 着色ペースト、もしくはスペクトラムを最大 2%まで添加できます。
3. 可使時間10~12分 (20°C) です。
約5時間で表面が硬化し、次の作業をすることができます。約7日後には完全に硬化しています。

4. 使用道具は洗浄し清潔にしてください。
5. 温めると硬化速度を早め、温度を下げると硬化速度が遅くすることができます。

・ 特記事項

- － 湿気のある場所や、直接水に触れる場所にも使用できます。
- － 正確な混合比率によってのみ、良い特性が得られます。
余分な接着剤は黄変の原因になります。
- － 接着する表面はきれいにし、完全に乾燥させてください。水分が残っていると接着部に気泡ができ、安定性が下がります。
- － 作業場が 15°Cを下回ると接着強度が下がります。
- － 作業場が 5°C以下になると十分に硬化しません。
- － 接着部が恒久的に 60°Cを超える温度にさらされるとよくありませんが、短期間であれば最大 100°Cまでの耐熱効果があります。
- － 一度硬化した硬化物は溶解剤でも取り除くことはできません。
高温（200°C以上）にて物理的に取り除くことは可能ですが接着面等損傷の可能性がります。

・ 技術データ

色	無色、不透明
比重	成分A 約 1.10 g/cm ³ 成分B 約 1.16 g/cm ³
混合比 主剤：硬化剤	1：1
可使時間（混合してから使用できる時間（分））	
5°Cの硬化剤	30分
20°Cの硬化剤	10分
30°Cの硬化剤	9分
40°Cの硬化剤	8分
50°Cの硬化剤	7分
20°Cで硬化時間での硬度（ショアD硬度）	
50/3時間	60/4時間
70/6時間	73/24時間
77/7日	

曲げ強さ DIN EN ISO 178 : 50-60 N/mm²
引張り強度 DIN EN ISO 527 : 20-30 N/mm²

・ 保管期間

直射日光を避け、湿気のない冷暗所で元の容器で12ヶ月。未開封に限る。

・ 健康と安全

この製品の使用前に安全データシートをご一読ください。

・ 重要な注意事項

使用に当たっては、必ず予備テストを行い確認の上、実際の使用をしてください。